

名古屋教区デー 城北橋教会の取り組み

「教区年間テーマについて分かち合おう」
教会が信仰共同体であるために

名古屋教区では、十一月の最終日曜日「教区デー」すなわち「名古屋教区の日」と決め、その日には名古屋教区すべての小教区で年間テーマについて取り組む日となっています。

十一月二十六日(日)のミサ後、城北橋教会でも、教区デーの取り組みとして、二〇〇六年の名古屋教区年間テーマである「信仰共同体である教会の一致と福音の証し」についてのグループでの分かち合いを行い、約五〇名の方が参加しました。

まず、プリヨ神父様から、今回の分かち合いのポイント、テーマについてのお話があった後、それぞれ六〜七人のグループに分かれて分かち合いが行われました。

グループには、各々二名のリーダーが中心となって、分かち合い

を進めてもらいました。

分かち合い後には、聖堂にて聖体賛美式が行われ、教区デーの取り組みを締めくくりました。



参加者の感想から

- 日頃あまり話す機会がない人と色々な信仰の話が出来て良かった。
- これを機に、もつと教会の信者さん同士のコミュニケーションが取れるようになれば良いなあと感じました。
- 地区会や年代別の集まりを行ったら、共同体のつながりが深められるのではないかと感じました。
- 教会に来ることが喜びであって、喜べる場所でありたいと感じました。
- ミサにあずかって満たされた私たちは、その恵みを生き生きと積極的に他の人に伝えていけると思う。
- 普段話すことのない、幼児洗礼の方の考えと、成人洗礼の方の考えを聞くことが出来て、分かち合えて良かった。
- 教会を通じて、多くの人を愛せる、愛されるようにしていきたい。
- 教会共同体の一員として、もつといろいろなことに協力して共に参加できるようになれたらと思います。